

平成 22 年 5 月 10 日現在

研究種目：基盤研究 (C)
研究期間：2007～2010
課題番号：19500534
研究課題名 (和文) スポーツの法的問題に関する研究-日・米・欧におけるスポーツ参加を巡る紛争
研究課題名 (英文) A study of legal issues in sport; disputes on participation in Japan, United States and European nations.
研究代表者 井上 洋一 (INOUE YOICHI)
奈良女子大学・文学部・教授
研究者番号：10193616

研究代表者の専門分野：スポーツ法学
科研費の分科・細目：健康・スポーツ科学 ・スポーツ科学
キーワード：スポーツ、法的問題、紛争

1. 研究計画の概要

スポーツ法研究で先んじているアメリカ合衆国及びヨーロッパ諸国の資料を中心として、スポーツに関わる紛争、訴訟そして関連の法規に焦点を当て、以下の諸点を明らかにする。

(1) 国際的に注目されてきたスポーツに関わる法的問題のうち、とくにスポーツ関連の紛争や訴訟はどのような状況にあり、そしてそれらに関わる法規はいかなるものがあるのかを明らかにする。

(2) スポーツに関わる紛争や訴訟のうち、とくに参加資格に関する事例として、障害を持つ者に関する事例、人種や民族に関する事例、男女の機会に関する事例及びスポーツ・バイオレンスやドーピングに関する事例などを取り上げ、その具体的内容、争点、法的な判断及び課題を明らかにする。

2. 研究の進捗状況

ヨーロッパでは、とくにヨーロッパ評議会のスポーツ担当者会議において法的な問題が検討され、採択や勧告という形式で共通の方向が示されてきた。それらは、1960年代から80年代までをみても、採択として、競技者のドーピング(1967)からスポーツ・フォア・オール政策の理念(1976)やCESスポーツ基金の設立(1978)などがあり、また、担当大臣会議の勧告として、観衆の暴力(1984)やヨーロッパ・アンチドーピング憲章(1984)そして障害者のスポーツ・フォア・オール(1986)などを数えることができる。とくに、EU法の整備が進むなかで1990年代後半からは、経済活動とプロスポーツ選手の移籍の問題が

浮上し、スポーツとしての特殊性(固有法)と一般法との接点をどのように調整してゆくかが課題となっている。また、とくに紛争処理については、アメリカ合衆国で生じたレスリング・グレコローマンのシドニーオリンピック代表をめぐる紛争では、アメリカ・オリンピック・アマチュアスポーツ法を根拠にした仲裁による裁定、わが国の北京オリンピックのアジア地区最終予選へのカヌー・カヤック女子選手の代表について、選手選考への不満から代表決定取り消しなどを求めた日本スポーツ仲裁機構での仲裁、そして国際スポーツ仲裁裁判所(CAS)による我那覇選手のドーピング禁止規定違反の処分取り消し裁定、同様に国際スポーツ仲裁裁判所(CAS)が、両足義足の選手の出場を認めなかった国際陸上競技協会の決定を無効とする裁定を下した例などスポーツ参加をめぐる紛争など、近年は、各スポーツの仲裁機関を紛争解決の場として争われるケースが増加していることなどが、確認できてきたところである。

3. 現在までの達成度

②概ね順調に進展している。
上記進捗状況にあげたような事項が確認できてきているため。

4. 今後の研究の推進方策

今後は研究計画の概要(2)にあたる参加資格に関する事例のうち、とくに障害を持つ者に関する事例、人種や民族に関する事例、男女の機会に関する事例及びスポーツ・バイオレンスやドーピングに関する事例などを取り上げ、その具体的内容、争点、法的な判

断及び課題を明らかにすることで、研究を深めたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計0 件)

〔学会発表〕(計0 件)

〔図書〕(計2 件)

(1)井上洋一、タイトルラインとアフターマテイク・アクション (pp.64-69)、小笠原正、諏訪伸夫編著、ぎょうせい、『スポーツのリスクマネジメント』、2009年、p.344、

(2)井上洋一、障害者スポーツ政策 (pp.97-108)、アメリカのスポーツ政策 (pp.151-161)、諏訪伸夫、井上洋一、齋藤健司、出雲輝彦編著、日本評論社、『スポーツ政策の現代的課題』、2008年、p.303、

〔産業財産権〕

○出願状況 (計0 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況 (計0 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕

井上洋一、スポーツ政策を考える、毎日新聞夕刊、2010年1月9日

井上洋一、大相撲時津風部屋力士暴行事件に関するコメント、中日新聞、2009年5月30日

井上洋一、落雷 (スポーツ事故) 訴訟に関するコメント 「やっと納得の判決」落雷賠償命令 読売新聞 (高知)、2008年9月18日